

## 平成 30 年度東部クリーンセンター放射性物質濃度等測定結果

●焼却灰等放射性物質濃度（単位：焼却灰等 Bq/kg、排水 Bq/L、排ガス Bq/m<sup>3</sup>）

### 第 1 回

採取日	検 体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成 30 年 4 月 17 日	熔融スラグ <sup>※1</sup>	不検出	不検出	不検出
	熔融飛灰 <sup>※2</sup>	20	180	200
	熔融不適物 <sup>※3</sup>	不検出	14	14

### 第 2 回

採取日	検 体		放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成 30 年 5 月 14 日	熔融スラグ <sup>※1</sup>		不検出	不検出	不検出
	熔融飛灰 <sup>※2</sup>		26	260	286
	熔融不適物 <sup>※3</sup>		不検出	不検出	不検出
	主灰 <sup>※4</sup>		不検出	29	29
	飛灰 <sup>※5</sup>		25	220	245
	排水		不検出	不検出	不検出
平成 30 年 5 月 24 日	排ガス	1号焼却炉	不検出	不検出	不検出
平成 30 年 5 月 25 日		1号熔融炉	不検出	不検出	不検出

### 第 3 回

採取日	検 体		放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成 30 年 6 月 14 日	熔融スラグ <sup>※1</sup>		不検出	不検出	不検出
	熔融飛灰 <sup>※2</sup>		27	280	307
	熔融不適物 <sup>※3</sup>		不検出	不検出	不検出
平成 30 年 6 月 25 日	排ガス	2号焼却炉	不検出	不検出	不検出

第4回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
平成30年7月13日	熔融スラグ <sup>※1</sup>	不検出	不検出	不検出
	熔融飛灰 <sup>※2</sup>	23	240	263
	熔融不適物 <sup>※3</sup>	不検出	不検出	不検出

第5回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
平成30年8月7日	熔融スラグ <sup>※1</sup>	不検出	不検出	不検出
	熔融飛灰 <sup>※2</sup>	20	200	220
	熔融不適物 <sup>※3</sup>	不検出	不検出	不検出
	主灰 <sup>※4</sup>	不検出	18	18
	飛灰 <sup>※5</sup>	18	200	218
	排水	不検出	不検出	不検出
平成30年8月20日	排ガス <sup>※6</sup>	1号焼却炉	不検出	不検出
平成30年8月21日		2号焼却炉	不検出	不検出
平成30年8月20日		1号熔融炉	不検出	不検出

第6回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
平成30年9月21日	熔融スラグ <sup>※1</sup>	不検出	不検出	不検出
	熔融飛灰 <sup>※2</sup>	18	200	218
	熔融不適物 <sup>※3</sup>	不検出	不検出	不検出

## 第7回

採取日	検体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成30年10月1日	溶融スラグ <sup>※1</sup>	不検出	不検出	不検出
	溶融飛灰 <sup>※2</sup>	21	230	251
	溶融不適物 <sup>※3</sup>	不検出	不検出	不検出
	不燃残渣	不検出	不検出	不検出

## 第8回

採取日	検体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成30年11月22日	溶融スラグ <sup>※1</sup>	不検出	不検出	不検出
	溶融飛灰 <sup>※2</sup>	15	170	185
	溶融不適物 <sup>※3</sup>	不検出	不検出	不検出
	主灰 <sup>※4</sup>	不検出	13	13
	飛灰 <sup>※5</sup>	15	160	175
	排水	不検出	不検出	不検出
平成30年11月29日	排ガス	1号焼却炉	不検出	不検出
		2号焼却炉	不検出	不検出
		2号溶融炉	不検出	不検出

## 第9回

採取日	検体	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
平成30年12月7日	溶融スラグ <sup>※1</sup>	不検出	不検出	不検出
	溶融飛灰 <sup>※2</sup>	12	150	162
	溶融不適物 <sup>※3</sup>	不検出	不検出	不検出

第10回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
平成31年1月11日	熔融スラグ <sup>※1</sup>	不検出	不検出	不検出
	熔融飛灰 <sup>※2</sup>	18	220	238
	熔融不適物 <sup>※3</sup>	不検出	不検出	不検出

第11回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
平成31年2月19日	熔融スラグ <sup>※1</sup>	不検出	不検出	不検出
	熔融飛灰 <sup>※2</sup>	11	170	181
	熔融不適物 <sup>※3</sup>	不検出	不検出	不検出
	主灰 <sup>※4</sup>	不検出	不検出	不検出
	飛灰 <sup>※5</sup>	14	150	164
	排水	不検出	不検出	不検出
平成31年2月21日	排ガス	2号焼却炉	不検出	不検出
平成31年2月22日		2号熔融炉	不検出	不検出

第12回

採取日	検体	放射性セシウム134	放射性セシウム137	放射性セシウム合計
平成31年3月8日	熔融スラグ <sup>※1</sup>	不検出	不検出	不検出
	熔融飛灰 <sup>※2</sup>	13	140	153
	熔融不適物 <sup>※3</sup>	不検出	不検出	不検出

※1 熔融スラグとは、焼却灰を高温で溶かし（熔融し）、冷却・固化してできるガラス状の物質をいう。

※2 熔融飛灰とは、焼却灰を高温で溶かす（熔融する）ときに発生し、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん）をいう。

※3 熔融不適物とは、焼却灰に含まれる未燃分（主に金属類）のことをいう。

※4 主灰とは、燃やしたごみの燃えがらのことで、焼却炉の底から排出される灰をいう。

※5 飛灰とは、ろ過集じん器などで捕集した排ガスに含まれているダスト（ばいじん）をいう。

●敷地境界空間放射線量 (  $\mu$  S v /時 ) <sup>マイクロシーベルト</sup>

第1回 (平成30年4月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成30年4月25日	0.05	0.06	0.06	0.05	0.05

※地表面から1mの高さで測定。

第2回 (平成30年5月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成30年5月30日	0.06	0.06	0.05	0.05	0.05

※地表面から1mの高さで測定。

第3回 (平成30年6月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成30年6月27日	0.05	0.05	0.05	0.04	0.05

※地表面から1mの高さで測定。

第4回 (平成30年7月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成30年7月25日	0.06	0.05	0.05	0.05	0.04

※地表面から1mの高さで測定。

第5回 (平成30年8月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成30年8月29日	0.06	0.05	0.06	0.05	0.05

※地表面から1mの高さで測定。

第6回 (平成30年9月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成30年9月26日	0.06	0.05	0.06	0.05	0.05

※地表面から1mの高さで測定。

第7回 (平成30年10月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成30年10月31日	0.06	0.06	0.06	0.05	0.06

※地表面から1mの高さで測定。

第8回 (平成30年11月)

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成30年11月28日	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05

※地表面から1mの高さで測定。

第9回（平成30年12月）

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成30年12月26日	0.06	0.05	0.06	0.06	0.06

※地表面から1mの高さで測定。

第10回（平成31年1月）

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成31年1月30日	0.05	0.05	0.05	0.04	0.05

※地表面から1mの高さで測定。

第11回（平成31年2月）

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成31年2月27日	0.06	0.06	0.06	0.05	0.06

※地表面から1mの高さで測定。

第12回（平成31年3月）

測定日	東側	西側	南側	北側	バックグラウンド
平成31年3月27日	0.06	0.05	0.06	0.05	0.06

※地表面から1mの高さで測定。